

# 令和5年度「未来の技能者育成事業」体験授業実施結果報告書

2023.12.25(月)

|       |                      |      |           |         |                      |              |
|-------|----------------------|------|-----------|---------|----------------------|--------------|
| 事業コード | 23-G-06              | 学校名  | 海津市立東江小学校 |         | 住所                   | 海津市海津町駒ヶ江159 |
| 実施日   | 10月19日(木)13:30~15:45 |      |           | 受講児童生徒数 | 28名(4年8名/5年8名/6年12名) |              |
| 開講職種数 | 2職種                  | 指導者数 | 3名        | 参観保護者数  | 0名                   |              |

## 学校アンケートの結果

1 体験授業全体を通して、満足していただける内容となっていましたか

- ①多くの児童生徒が、講話に傾聴し、積極的にものづくり活動に取り組むなど、大変満足できる内容であった  
4 貴校の児童生徒が将来技能者を目指すに当たっての課題や、ご意見があればお聞かせください

→ ・今回の職業講話の中にも「夢に向かって努力する」等のお話がありました。けれども、本校の児童の今年度の全国学力・学習状況調査の中の児童質問紙では、「自分によいところがある」や「人の役に立つ人間になりたい」の設問では、全国や県よりも低い結果となりました。自己肯定感の低さを課題としています。将来、なりたい自分になり、いろんな技能を身に付けた職業人になれるよう、今後の活動も頑張らせていただきます。  
・「ものづくり」体験教室は、2年前にも本事業が「目指せマイスタープロジェクト」(国事業)であった頃に行った「畳打ち体験」と「ミニ座布団体験」の2つです。当時も、いわゆる職人技に魅了され、子どもたちが生き生きと活動していました。本事業が生きた教育となって、未来の技能者育成の一助になればと期待しております。

## 会場担当教員アンケートの結果(2会場の先生)

1 この体験授業にて児童生徒にものづくりの魅力や意義が伝わったと思いますか

- ①大変よく伝わった →                       ②ある程度伝わった →   
③あまり伝わらなかった →                       ④全く伝わらなかった →

2 児童生徒の皆さんが技能者を目指すに当たっての課題と思われることを自由にお書きください

→ ・自己肯定感をもち、自信にあふれた生活を送ること  
・本当に「ものづくり」が好きな自分かどうかを生き方の学習から見出すこと  
(以上、寝具製作会場および畳製作会場共通)

## 指導者アンケートの結果(2職種の各代表)

1 今回の授業は指導者として満足できる内容になったと思いますか

- ①多くの児童生徒が、講話に傾聴し、積極的にものづくり活動に取り組むなど、大変満足できる内容であった   
②興味関心を示さない児童生徒も少しはいたが、概ね満足できる内容であった   
③興味関心を示さない児童生徒が多く、あまり満足できる内容ではなかった   
④ほとんどの児童生徒が興味関心を示さず、まったく満足できる内容ではなかった

2 今後の業界における人材育成の課題についてお聞かせください。また、その課題の解決に関して、この体験授業の中でさらなる要望がもしありましたら、お聞かせください

・ミシン縫いの作業では、お手伝い頂き、短時間で済ませることができ、大変助かりました。  
・会場が広く、効率よく作業が進められました。会場は広い方がいいです。  
・若い人の後継者不足は大半の職種も同じで、技能の継承は危機的状況です。そんな中、岐阜県独自の事業としてこの体験授業が実現したことは、全国に誇れる素晴らしいことだと思います。子ども達にものづくりの魅力を直接伝える機会ができ、教える側にとっても刺激になっています。先の長い取り組みですが、後継者の掘り起こしにつながるこの事業については、今後も引き続き継続を願います。(以上、寝具製作職種)

・ミニ畳の製作時、お手伝いいただきありがとうございました。  
・今回は、小学4年生の児童も参加しました。体験活動において、5・6年生よりも、補助が必要でした。指導者をあと1~2名増やした方がいいのではないのでしょうか。  
・私たちの職種も、跡継ぎ不足は大きな問題です。技能の継承は危機的状況にあります。子どもの頃から、ものづくりに関わり、ものづくりの楽しさ、興味を持ってくださることは、大切なことだと思います。小学生のうち一度は、技能工の職人になりきって、ものづくりをして、仕事の喜びや魅力を知ることが、子どもたちの財産になると思います。これからも事業の継承を期待しています。(以上、畳製作職種)

## 会場別の指導者数・受講者数・児童生徒アンケートの結果

【児童生徒 アンケートの質問】 今回の体験授業全体を通して、どれくらい満足されましたか

|         |             | 寝具製作 | 畳製作 | 合計(左:人 右:%) |      |
|---------|-------------|------|-----|-------------|------|
| 指導者数    |             | 1    | 2   | 3           |      |
| 受講児童生徒数 |             | 14   | 14  | 28          |      |
| 回答      | とても満足した     | 13   | 12  | 25          | 89.3 |
|         | ある程度満足した    | 1    | 2   | 3           | 10.7 |
|         | あまり満足できなかった | 0    | 0   | 0           | 0.0  |
|         | 満足できなかった    | 0    | 0   | 0           | 0.0  |
|         | 合計          | 14   | 14  | 28          | 100  |

## 寝具製作会場の様子



### 先生の感想

- ・説明がとても分かりやすく、児童が喜ぶリズムや動きを取り入れながら話をしてくださったので、とても楽しく取り組んでいました。楽しい中でも職人の技が光るポイントがいくつもあり、そのかっこよさを目を輝かせていました。
- ・座ぶとんづくりの行程がむずかしいところがありましたが、布や綿の握り方や持ち方、空気を入れてはんぱんする方法など、教育の原点である「やってみせる」ことが徹底しており、それを見ることで、児童の「やってみたい」を刺激し、意欲的な活動につながっていました。
- ・座ぶとんづくりでは、わたを切ったり折りたたんだりするなど、一枚の座ぶとんを作るのに、多くの作業がありました。児童は、先生の話聞いて、楽しく作業していた一方で、座ぶとんづくりの大変さも感じていました。
- ・職業講話の「夢に向かって努力する」というお話がとてもすてきで感動しました。吉田先生の生き方に児童が惹きつけられ、これから夢に向かっていく高学年の児童にびったりのすばらしいお話だったと感じています。

### 児童生徒の感想

- ・職業講話では、しっかり目標を持って、諦めそうになっても、初心を思い出して取り組んだという心意気が「すごい」って思いました。布団や座布団を作るのに、そんな苦労があったとは思いませんでした。
- ・布団を作るのに、とても丁寧で、いつも心を込めてやっているからこそ、出来上がりも違うということがよく分かった。
- ・私は、座布団や布団を作るのに、その人に合ったものをお届けするために、一つ一つ綿から選んで、沢山の日数をかけて完成させ、やっと渡せていると聞き、大変な作業をされていることがよく分かりました。
- ・私は、座布団を作る体験をしてみて、布団の角の部分には、入れる綿で角(つの)を作ってから生地の中に隙間がないように入れていて、またカバーを綿に被せるとき、紙を使って被せるところが難しかったです。
- ・座布団の角に入れる綿を作る時、先生が綿をピンピンに仕上げているのが印象に残りました。また、綿を生地の中に入れる時も、一度たたんでから入れるところが難しかったです。でも、布団職人さんはそうした大変な作業を、1枚作るのにたった25分で完成させると聞いてすごいと思いました。
- ・将来就きたい職業について、今はまだ決まっていません。けれど今回の授業を受けて、人のためになる何かを作ったり、考えたりできる職業に就きたいと思いました。

## 畳製作会場の様子



### 先生の感想

- ・畳の良さを、五感をもって直に感じる機会が得られた。
- ・製作実演で、畳に針を通す活動を参観したり、実際に体験したりすることで、職人の技のすばらしさを実感することができた。
- ・畳そのもののすばらしさを知る活動から、ミニ畳づくりに移行する流れがよかった。児童も集中して最後まで丁寧に作ろうと取り組むことができた。
- ・また、畳の大きさは、「尺」や「寸」といった単位を使うということ、「一寸法師」などの話を交えながら児童に楽しく教えていただいた。
- ・ミニ畳のへりをホチキスで留めていく行程が分かりやすく、どの児童もその出来上がった「ミニ畳」を仲間に見せては、「どう？これ」とか「上手にできたでしょ」と嬉しそうに語っていました。満足感を得た活動になった。
- ・畳の手縫い体験では、全員に体験させていただいたことが児童のよりよい体験になった。
- ・限られた時間であるので、体験については教師側の方で効率的に進めることができるようにサポートしていきたい。
- ・道具については、事前に使い方を説明いただくことで、使用上の注意点を確認した上で、ものづくりに参加することができるようにしたい。

### 児童生徒の感想

- ・一番印象に残ったのは、へり(布)を張るところです。何故かという、私の家には畳の部屋があって、どのように張ってあるのか知りたかったからです。(私は、ミニ畳を作る時、桜の模様のを張りました)
- ・畳打ちの時、職人さんの実演で、正確な位置に素早く長い針を刺していて、とても驚いたし、すごいと思った。
- ・畳打ち体験で、畳に長い針を刺すところが難しかった。手のひらでやると、痛かったり、怪我をしたりするので、金属が入った袋(道具)を付けてやるのが分かった。
- ・本当の畳で、長い針で縫う作業を体験して、すごく堅くて、そんなにスムーズにはできなかったけど、すごく楽しかった。
- ・実際の畳にへりを縫い付ける体験をして、とても堅くてやりにくかったので、普段畳づくりをしている職人さんはすごいなと思いました。また、私たちが普段座っている畳を作るには、とても時間がかかることが分かりました。
- ・ミニ畳づくりで、畳のへりなどをホチキスで留めるところが楽しかったです。実際の畳はもっと大きいし、ホチキスなど使わないので、畳を作るのは大変なんだと思いました。
- ・ミニ畳づくりの時、最初は難しかったけど、職人さんに手伝ってもらって、楽しく作ることができました。
- ・今日、畳の体験授業を受けて、将来「畳職人」もいかなと思った。